新型コロナウイルス感染拡大を防ぎ

避難をするために

避難をするときは、状況に応じて自分たちにあった避難先を検討 し、避難と感染症対策を両立できるように日頃から準備をしてお きましょう



1 避難の種類を知ろう

避難とは、「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人まで避難する必要はありません。避難先への移動中に、被災することもあります。適切な避難を行い、避難を分散することが、密閉・密集・密接の3密を避けることにつながります。

1)在宅避難

ハザードマップで浸水する 可能性や土砂災害の危険性 がない場所に自宅があり、 自宅で安全が確保できる場 合は、その場に留まる在宅避 難も選択肢に入れましょう。

②知人宅等への避難

避難所以外にも、親戚や知 人宅、車内など安全が確保 できる場所への避難も考え てみましょう。

災害が起きた場合、受け入れが可能か相手先に確認・ 相談し、あらかじめ決めて おくことが重要です。

③身近な避難所への避難

災害時に開設された避難所 を確認し、避難しましょう。 避難所開設情報は、防災行政 無線や市ホームページ等で情 報発信を行います。

避難検討の優先度

低

車での移動・車中泊の際の注意

- ■車での避難では、避難先までの経路が冠水しないか、浸水想定区域にないかなど安全性を確認しましょう。
- ■移動時ガス欠とならないよう、こまめな給油を 心がけましょう。
- ■豪雨時の移動は非常に危険です。早めの避難を 心がけましょう。
- ■車を駐車する場所の安全確認をしましょう。
- ■エコノミークラス症候群を予防しましょう。
- ・できる限り弾性(ちゃく圧)靴下をはく
- ・車内で足を伸ばせるスペースを確保する
- ・時々足の指先、足首、ふくらはぎを動かす体操 やマッサージをする
- こまめに水分補給をする
- ■車中泊をする場合は、一酸化炭素中毒対策のため、車のエンジンは切りましょう。

2 避難場所と避難所って違うの?

▶避難場所(指定緊急避難場所)

例) 安全な構造である堅牢な建築物・危険が及ば ない学校のグラウンド・駐車場など

▶避難所 (指定避難所)

被災して帰宅ができない場合、一定期間避難生活 を送るためのところ

例) 学校・体育館・文化会館等の公共施設など ※開設情報を確認してから避難してください。

3 非常時持出品の準備をしよう

避難所では、マスク、アルコール消毒液、体温計等が不足する事態が想定されます。感染症対策品を含む非常時持出品を家族で必要な分だけ用意し、避難時にすぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。

乳幼児や妊婦、高齢者などの要配慮者の方については必要 と思われるものも準備しましょう。



貴重品	□現金 □印鑑 □預金通帳・保険証・免許証・カード類などのコピー
衣類	□スリッパ □タオル □下着 □上着 □雨具
救急用品 衛生用品	□マスク □アルコール消毒液 □体温計 □ウェットティッシュ □ペーパータオル □服用中の薬・おくすり手帳
非常食品	□飲料水 □缶詰 □簡易食(あめ・チョコなど)
生活用品	□スマートフォン・携帯電話 □モバイルバッテリー(充電器) □携帯ラジオ □LEDランタン □電池 □筆記用具 □ラップ □ビニール袋 □携帯トイレなど

<例えば>

小さいお子さんがいる方は…



□ミルク □紙おむつ □母子健康手帳 □離乳食など 介護が必要な方は…



□大人用紙おむつ・紙パンツ□入れ歯□介護用品□補聴器など

4 避難先でも感染症対策

避難場所・避難所は3密状態になりやすく、新型コロナウイルスをはじめとする感染症拡大の恐れがあります。 避難先では、可能な限り定期的な換気を行うなど、できることから感染症対策に取り組みましょう。

◆体調管理

- ・毎日体温を測り、自身の健康状態を確認しましょう
- ・体調不良の場合は、すぐに避難 所のスタッフに相談しましょう

◆衛生管理

- ・入館時には必ず手指の消毒を行いましょう
- ・咳エチケットを徹底しましょう
- ・物品及び施設等は定期的に清掃しましょう
- ・トイレはきれいに使いましょう
- ・食事前、トイレ使用後、ゴミ処 理後等、頻繁に石鹸と水で手洗 いしましょう(手洗いができな い場合は、アルコール消毒液で 代用)

19 令和2年9月1日号 広報 ほんじょう 18